

氏名	丸岡 弘	部署	理学療法学科	職名	教授
研究分野	内部疾患理学療法学、運動生理学				
学位	博士（学術）、修士（工学）				
学歴	1989年芝浦工業大学、1994年日本大学大学院理工学研究科医療福祉工学専攻博士前期課程、2001年博士（学術）（乙）（日本大学 第5932号）				
経歴	1983年多摩丘陵病院、1984年埼玉県総合リハビリテーションセンター、1993年埼玉県立循環器病センター（仮称）準備事務所、1994年埼玉県立循環器・呼吸器病センター、2000年埼玉県立大学保健医療福祉学部理学療法学科講師、2005年埼玉県立大学保健医療福祉学部理学療法学科助教授、2009年埼玉県立大学保健医療福祉学部理学療法学科教授、2009年埼玉県立大学院保健医療福祉学研究科保健医療福祉学専攻教授				
所属学会（役職）	日本理学療法士協会、日本運動療法学会、日本心臓リハビリテーション学会（評議員、規約審査部会）、理学療法科学学会、日本臨床生理学学会、日本心臓病学会、日本運動生理学学会、日本補完代替医療学会				

【2019年度実績】

1. 研究業績						
(1) 著作						
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名	発行等年月
1	内部障害理学療法学テキスト第3版(4刷)編集	共著	あり	南江堂；P.456	山崎裕司、川俣幹雄、丸岡弘	2020.2
2	内部障害理学療法学テキスト第3版(4刷)9.心不全の理学療法	単著	あり	南江堂；P.81-92	丸岡弘	2020.2
(2) 論文						
	論文の名称	単・共	査読	雑誌名、巻（号）、開始-終了ページ	著者、編者名	発表等年月
1	Effect of Exercise on Muscle Protein and Mitochondrial Function in Mice Model of Skeletal Muscle Atrophy	共著	あり	Int J Anal Bio-Sci; 7(2); P.19-25	Maruoka H, Tanaka K, Zenda M, Ogawa A, Kido S, Inoue K	2019.6
(3) 学会発表						
	学会発表の演題	単・共		学会名、開催都市	発表者（発表者は○印）	発表等年月
1	Is swallowing function related to ADL level and spatial extent of life space in patients with respiratory failure?	共同		13th International Society of Physical and Rehabilitation Medicine、Kobe	○Zenta M., Kiko R., Tsushima K., Hattori T., Kiyofuji K., Nishikawa T., Maruoka H., Kido S., Kakuda W.	2019.6
2	人工呼吸器管理下の患者における機械的咳介助（Mechanical insufflation-exsufflation：MI-E）の安全性と有効性	共同		第6回呼吸ケア・リハビリテーション学会関東支部学術集会、東京	○善田督史、津島健司、角田亘、服部知洋、清藤晃司、吉原楓、森居健一、府川泰久、木戸聡史、丸岡弘	2019.7
3	高齢心不全患者における血管弾性能CAVIと運動耐容能	共同		第51回日本動脈硬化学会総会・学術集会、京都市	○小川明宏、清水一寛、丸岡弘、寺山圭一郎、寺本博、秋葉崇、土谷あかり、中神隆洋、清川甫、岩川幹弘、高橋真央、白井厚治	2019.7
4	男性急性心筋梗塞患者における血管機能と身体機能の関連	共同		第4回日本心管理理学療法学会・第6回日本糖尿病理学療法学会合同学術大会、沖縄市	○小川明宏、清水一寛、寺山圭一郎、秋葉崇、寺本博、土谷あかり、中神隆洋、清川甫、丸岡弘、白井厚治	2019.9
5	急性呼吸不全患者における大腿四頭筋筋厚と日常生活動作の関連性	共同		第38回関東甲信越ブロック理学療法士学会、前橋市	○善田督史、津島健司、角田亘、服部知洋、清藤晃司、小河裕樹、吉田誠也、府川泰久、木戸聡史、丸岡弘	2019.10
6	運動期間の違いが肺胞やサイトカインにおよぼす影響－COPD廃用モデルマウスによる検討－	共同		第56回日本臨床生理学学会総会、さいたま市	○丸岡弘、田中健一、高柳雅朗、善田督史、小川明宏、木戸聡史	2019.10
7	高齢心不全患者におけるサルコペニアと血管弾性能CAVIの関連性	共同		第54回日本成人病（生活習慣病）学会学術集会、東京	○小川明宏、清水一寛、寺山圭一郎、秋葉崇、寺本博、土谷あかり、中神隆洋、清川甫、岩川幹弘、中島新、丸岡弘、白井厚治	2020.1

(4) その他					
	名称	単・共	発表場所等	発表者（発表者は○印）	発表等年月
1	該当なし				
2. 競争的資金等の研究					
	競争的資金等の名称		研究名	研究代表者・研究分担者の別	研究期間
1	科学研究費補助金（基盤研究C）		COPD筋委縮モデルマウスにおける肺組織や炎症から見た運動や電気刺激の効果	研究代表者	2018.4～2020.3
2	埼玉県立大学奨励研究費（S）		RJ対話トーキングサークルにおけるストレス緩和効果に関する基礎研究	研究分担者	2018.4～2020.3
3	埼玉県立大学奨励研究費（C）		肺組織や炎症から見た運動や電気刺激の効果－加熱式タバコにより作製したCOPD筋委縮モデルマウスによる検討－	研究代表者	2019.4～2020.3
3. 教育業績					
(1) 講義					
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）	
1	心肺系理学療法学	○	4	授業評価を基にした講義と実習内容の改善を行った	
2	腎代謝系理学療法学		4	授業評価を基にした講義と実習内容の改善を行った	
3	臨床心電図解析演習A、臨床心電図解析演習B	○	6	心電図を学ぶために工夫した演習と実習の実践を行った	
4	内部機能障害治療学特論	○	15	内部疾患領域に関するグループ討議の実践を行った（大学院博士前期課程）	
5	理学療法症候障害論		6	内部疾患領域に関するグループ討議の実践を行った（大学院博士後期課程）	
(2) 演習					
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）	
1	卒業課題研究			学生主体による研究課題の実践を行った（保健医療福祉学部）	
2	神経障害理学療法実践テュートリアル		8	テュートリアル教育の実践・専門科目への展開を行った	
3	内部障害理学療法実践テュートリアル		8	テュートリアル教育の実践・専門科目への展開を行った	
4	循環系理学療法の臨床実践	○	8	デモンストレーションと実技指導によりわかりやすい授業の実践、学習到達目標を踏まえた実習の実践を行った	
5	理学療法セミナー（OSCE1）、理学療法セミナー（OSCE2）			学外の臨床実習前における理学療法統合化の実践を行った	
6	リハビリテーション学特別研究			院生主体による研究課題の実践を行った（大学院博士前期課程）	
7	博士論文特別研究			院生主体による研究課題の実践を行った（大学院博士後期課程）	
8	リハビリテーション学演習（内部機能障害治療学）	○	15	内部疾患領域に関するグループ討議の実践を行った（大学院博士前期課程）	
9	理学療法症候障害論演習		6	研究方法を学ぶために工夫した演習の実践を行った（大学院博士後期課程）	

(3) 実習				
	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	内部障害理学療法実習	○	30	授業評価を基にした講義と実習内容の改善を行った
2	IPW実習		2019.4～2020.3	科目担当者として研修に参加。自主的に参加できるような学生をサポートした。
3	臨床教育実習Ⅰ、臨床教育実習Ⅱ、臨床教育実習Ⅲ、臨床教育実習Ⅳ		2019.4～2020.3	学外の臨床実習を通じて、理学療法統合化の実践を行った
(4) 論文指導				
	対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数	
1	学位（博士前期）論文審査	2019	主査	1名
2	学位（博士後期）論文審査	2019	主査	1名
3	卒業課題研究	2019	主指導	2名
4	学位（博士前期）論文指導	2019	主指導（指導教員）	1名
5	学位（博士後期）論文指導	2019	主指導（指導教員）	3名 副指導（指導補助教員） 3名
(5) その他				
	名称	期間	概要（教育内容・方法等において工夫した点）	
1	該当なし			
4. 社会貢献活動				
(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師				
	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ	開催年月
1	実習指導者講習会	埼玉県立大学理学療法学科	講師「循環系のフィジカル・イグザミネーション」	2019年9月
2	埼玉内部疾患系リハビリテーション研究会第84回研修会	埼玉内部疾患系リハビリテーション研究会	講師「循環系のフィジカルアセスメント パート1」	2019年12月
3	埼玉内部疾患系リハビリテーション研究会第85回研修会	埼玉内部疾患系リハビリテーション研究会	講師「循環系のフィジカルアセスメント パート2」	2019年12月
4	専門リハビリテーション研究会スポーツ部会研修会	専門リハビリテーション研究会	講師「スポーツに必要な循環器について」	2020年2月
(2) 国、自治体、学術団体等における委員等				
	国、自治体、学術団体等の名称	委員等の名称		任期
1	日本心臓リハビリテーション学会	評議員、規約審査部会員、査読委員		2011.7～現在
2	専門リハビリテーション研究会	倫理委員長		2011.7～現在
3	専門リハビリテーション研究会	第20回学術大会長		2018.7～現在
4	埼玉がんリハビリテーション研究会	世話人		2009.11～現在
5	埼玉内部疾患系リハビリテーション研究会	代表世話人		2010.8～現在
(3) ジャーナリズムでの発言				
	メディア等の名称	内容		年月
1	該当なし			
(4) その他				
	項目	相手方等	内容	期間
1	該当なし			

5. 学内運営			
	項目	内容	期間
1	全学的委員会及びセンター業務等	入試委員会委員	2018.4～現在
2	全学的委員会及びセンター業務等	入試実施部会長	2019.4～現在
3	全学的委員会及びセンター業務等	教員人事委員会資格審査会の委員候補者選考のための代議員・議長	2019.4～2020.3
4	全学的委員会及びセンター業務等	名誉教授選考委員会	2019.4～2020.3
5	全学的委員会及びセンター業務等	大学院教員審査会	2019.4～2020.3
6	大学広報活動	高校教員向け説明会（2回）、高校訪問への参加（1回）	2019.4～2020.3
7	学生支援	キャンパスハラスメント相談員	2015.4～2020.3
8	学科等における委員会等	副学科長	2015.4～現在
6. 受賞（研究、教育、社会貢献活動に関するもの）			
	受賞名	主催	受賞年月
1	該当なし		
7. 特許の取得			
	特許名	特許番号	登録年月
1	該当なし		
8. 特記事項			
	該当なし		